CRM-1

取扱説明書

canopus

ご使用の前に

ここでは、ご購入製品を使用されるときにご注意いただきたい事柄について説明しています。ご使用方法や、この内容について不明な点、疑問点などがございましたら、カノープス株式会社テクニカルサポートまでお問い合せください。

■絵表示について

本製品を安全に正しくお使いいただくために、以下の内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告　人が死亡または重傷を負う恐れのある内容を示しています。

注意　けがをしたり財産に損害をあたえる恐れのある内容を示しています。

この記号は気をつける必要があることを表しています。

この記号はしてはいけないことを表しています。

警告

■ご購入製品を使用される際の注意事項

ここでは、ご購入製品を使用されるときにご注意いただきたい事柄について説明しています。

● 健康上のご注意

ごくまれに、コンピュータのモニタに表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的にてんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでにされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあたられる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

● ほこりや湿気の多い場所で使用しない

ショートや発熱が起こり、火災や感電の原因になります。

● 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると、火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入った場合は、本体の電源を切り、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。

● 直射日光の当たる場所に置かない

日光の当たる場所や熱器具のそばに置かないでください。
火災や製品の故障の原因となります。

■リチウム電池を使用される際の注意事項

ここでは、リチウム電池を使用されるときにご注意いただきたい事柄について説明しています。

- ● 長期間使用しないときはリチウム電池を取り出してください。
- ● 使用済みリチウム電池は定められた場所に廃棄してください。また、各自治体の規則に基づいた場所に廃棄してください。
- ● 液もれが起こったときは、電池ケースについた液をよくふき取ってから新しいリチウム電池を入れてください。
- ● 液もれが起こって液が手などに付着した場合はよく洗い落としてください。
- ● リチウム電池は必ずお子様の手の届かない場所で保管してください。

ご注意

(1) 本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。

(2) 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。

(3) 本製品は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きの事がございましたら、当社までご連絡ください。

(4) 運用した結果については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

(5) ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。

(6) カノープス、CANOPUS/カノープスおよびそのロゴは、カノープス株式会社の登録商標です。

(7) MS、Microsoft、Windowsは米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。また、その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。

表記について

- ■ 本書に記載されていない情報が記載される場合がありますので、ディスクに添付のテキストファイル・オンラインマニュアルも必ずお読みください。
- ■ 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- ■ 本書はパソコンの基本的な操作を行うことができる方を対象に書れています。特に記載の無い操作については、一般的なパソコンの操作と同じように行ってください。
- ■ 本書ではMicrosoft® Windows® operating system をWindowsと表記します。
- ■ 説明の便宜上、実際の製品とイラスト及び画面写真が異なる場合があります。

カノープス株式会社

〒651-2241　神戸市西区室谷1-2-2

テクニカルサポート

TEL.078-992-6830

祝祭日および当社指定休日を除く月～金　10:00～12:00、13:00～17:00

目次

はじめに 6

■使用許諾契約書について 6

■ご使用に当たっての留意事項 6

■パッケージ内容の確認 7

■同梱物について 7

■サポートについて 7

インストール 9

■受光ユニットを装着する 9

■FEATHERをインストールする 9

アンインストール 12

操作方法 14

■CRM-1の操作 14

■FEATHERの操作 15

■録画再生コントロールボタンについて 16

■録画する 17

■タイムシフト機能を使う 17

■追いかけ再生する 18

■再生する 19

詳細設定 21

■L1ボタンについて 21

■L2ボタンについて 22

■L3ボタンについて 22

■Media Libraryについて 23

■プロパティについて 24

■FEATHER 設定ウィンドウについて 25
■PC 画面出力のプロパティについて.................... 26
■[コンポジット]のプロパティについて 27
■[S-VIDEO]のプロパティについて.................... 27
■[チューナー入力]のプロパティについて 28
■[ファイル再生]のプロパティについて 28
■Remote Control Manager について 29

仕様 31

■送信ユニット:CRM-1................................ 31
■受光ユニット:CIRCV-1 31

資料 32

■キー配置 32

はじめに

■使用許諾契約書について

CRM-1をご購入いただき、ありがとうございます。本製品をお使いいただくにあたって、お使いのＭＴＶシリーズ付属の『Support Service Manual』のソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。本製品に付属のソフトウェアをご利用いただくには、この使用許諾契約書の内容にご同意いただく必要があります。この使用許諾契約にご同意いただけない場合や、ご不明な点がありましたら、本書以外のパッケージを開封せずに下記カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。
このソフトウェア使用許諾契約は、お客様が『ディスクが入っている封筒』を開封された時点で内容にご同意いただいたものとさせていただきます。

カノープス カスタマーサポート
〒651-2241 神戸市西区室谷1-2-2 カノープス株式会社 カスタマーサポート宛

■ご使用に当たっての留意事項

ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
製品本来の使用目的及び当社が提供を行っている使用環境以外での動作は保証いたしかねます。
CPUなどを定格外でご使用の場合、本製品の動作保証は一切いたしかねます。

■パッケージ内容の確認

CRM-1のパッケージの中に次頁の付属品が入っていることを確認してください。製品の梱包には万全を期しておりますが、万一不足しているものがありましたら、下記カスタマーサポートまでご連絡ください。

カノープス カスタマーサポート
電話 : 078-992-5846
(※月曜～金曜 10:00～12:00/13:00～17:00 土日祝日および当社指定休日を除く)

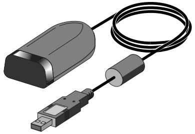
■同梱物について

※ 形状は予告無く変更されることがあります。

本製品には、以下の付属品が同梱されています。

□送信ユニット(CRM-1)

□受光ユニット(CIRCV-1)



□ディスク

□取扱説明書(本書)

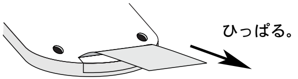
■サポートについて

本製品に関するさまざまなサービスをお受けいただくために、ぜひユーザー登録を行ってください(ご登録いただけていない場合には、一部のサービスについてお受けいただけないものがございます)。当社よりご提供させていただいておりますサービスについてはお使いのMTVシリーズ付属の『Support Service Manual』をご覧ください。
ユーザー登録カードの各項目に必要次項を記入し、ユーザー控えの部分を切り離して切手を貼らずにポストへ投函してください。切り離したユーザー控えは、ご購入いただきました製品の

所有者であることを証明するものになりますので、本書と併せて大切に保管してください。また、本製品は当社ホームページにおいてオンラインユーザー登録も承っております。詳しくはお使いのMTVシリーズ付属の『Support Service Manual』およびオンラインユーザー登録ページ(http://www.canopus.co.jp/tech/regist.htm)をご覧ください。
本製品の保証書は、ユーザー登録カード・ユーザー登録控えとの兼用となっています。ユーザー登録控え兼製品保証書は、製品の動作環境や修理をお受けいただく際に必要になります。
紛失された場合でも再発行はいたしませんので、大切に保管してください。

注意

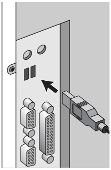
CRM-1をはじめて使用する時は、CRM-1の裏の電池カバーにはさまっているセロファンを引き抜いてからご使用ください。



インストール

■受光ユニットを装着する。

1 CIRCV-1をパソコンのUSBポートに接続すると、ドライバのインストールを自動的に開始します。



■FEATHERをインストールする。

Windows 2000/Windows XP環境でドライバをインストールするには、システム設定の変更を行える資格を持つユーザーID(Administrator、コンピュータの管理者等)でログオンしてください。FEATHERを使用する前にMTVシリーズのアプリケーション(Ver1.16以降必須)がインストールされていることを確認してください。また、TV Recording Managerが起動している場合は、TV Recording Managerを終了してからFEATHERのインストールを行ってください。

1 『CRM-1 Installation CD』をCD-ROMドライブにセットしてください。

※ ここではCD-ROMドライブをE:ドライブとして説明します。
※ CDの自動再生設定を行っている場合、セットアッププログラムが自動的に起動します。

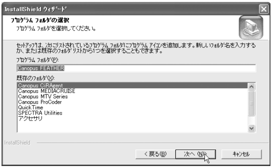
> **注意**
>
> セットアッププログラムが自動的に起動しない場合は、マイコンピュータやエクスプローラ等でCD-ROMドライブを開き、[FEATHER_Setup.exe]をダブルクリックしてください。

2 [次へ]をクリックしてください。

3 [次へ]をクリックしてください。

→ インストール先フォルダを変更する場合は、[参照]をクリックし、フォルダ名を指定してから[次へ]をクリックしてください。

4 アイコンを登録するフォルダを選択し、[次へ]をクリックしてください。



注意

インストール作業中に、下図のダイアログが表示された場合はTV Recording Manager が起動していますので、[OK]を選択し、TV Recording Manager を終了してください。

5 インストールオプションを選択し、[次へ]をクリックしてください。

→ 選択するオプションにチェックを付けてください。

6 [完了]をクリックしてください。

注意

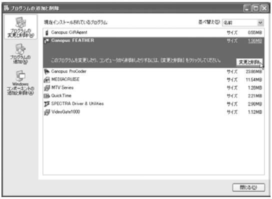
CIRCV-1を接続すると日本語キーボードを英語キーボードとして誤認識する場合があります。この場合、デバイスマネージャからキーボードを選択し、ドライバの更新で標準キーボード→日本語PS/2キーボードを選択してください。

アンインストール

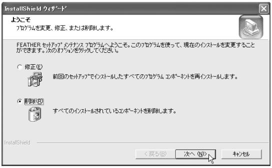
FEATHER のアプリケーションを使用しなくなった場合、アンインストールすることができます。アプリケーションのアップデートを行う場合は、アンインストール後に新しいアプリケーションのインストールを行うようにしてください。ここでは Windows XP 環境でのアンインストールを例に説明します。Windows 2000/Windows XP 環境でドライバをインストールするには、システム設定の変更を行える資格を持つユーザー ID(Administrator、コンピュータの管理者等) でログオンしてください。

1. [スタート] メニューから [マイコンピュータ] へ進み、システムのタスクから [プログラムの追加と削除] をクリックしてください。

2. 削除できるソフトウェアの一覧が表示されますので、[Canopus FEATHER] を選択し、[変更と削除] をクリックします。

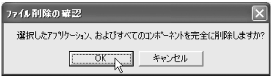


3. [削除] を選択し、[次へ] をクリックしてください。



4 ファイル削除確認のメッセージが表示されますので、[OK] をクリックしてください。

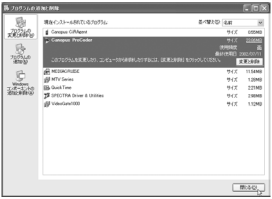
→ アンインストールを開始します。



5 [完了]をクリックしてください。

6 [閉じる]をクリックしてください。

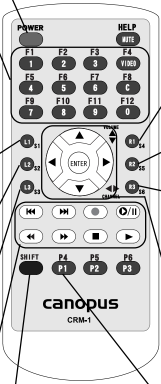
→ アンインストールは完了です。



操作方法

■ CRM-1の操作

現在選択されているモードで操作が禁止されている機能ボタンは使用できません。



POWERボタン:
FEATHERを起動/終了します。

1-0/Cボタン
チャンネルのダイレクト入力、もしくはプリセット入力で指定します。
ケーブルテレビのチャンネルは、頭に『C』をつけて入力します。
Cボタンはメニューの取り消しを行います。

L1ボタン
MTVシリーズの設定を行うメニューを表示します。

L2ボタン
音声に関する設定を行うメニューを表示します。

L3ボタン
FEATHERの動作に関する設定を行うメニューを表示します。

録画再生コントロールボタン
録画や再生に関するコントロールを行います(p.16参照)。

R1ボタン
Media Libraryを表示/非表示します(p.23参照)。

R2ボタン
最小化します。

R3ボタン
フルスクリーン表示に切り替えます。

左右ボタン
チャンネルをコントロールします。

上下ボタン
音量をコントロールします。

P1ボタン
FEATHERが起動します。

SHIFTボタン
他のボタンと同時に押すことによって機能します。
SHIFT+ ▶ カーソル右
SHIFT+ ◀ カーソル左
SHIFT+ ▲ カーソル上
SHIFT+ ▼ カーソル下
SHIFT+ENTERでマウスの左クリックと同じ動作になります。
SHIFT+POWERでスタンバイ状態になります。
(お使いの環境により動作内容は異なります。)

■ FEATHER の操作

現在選択されているモードで操作が禁止されている機能ボタンは使用できません。

POWER ボタン:

FEATHER を終了します。

1-0/C ボタン

チャンネルのダイレクト入力、もしくはプリセット入力で指定します。
ケーブルテレビのチャンネルは、頭に『C』をつけて入力します。
C ボタンはメニューの取り消しを行います。

L1 ボタン

MTV シリーズの設定を行うメニューを表示します。

L2 ボタン

音声に関する設定を行うメニューを表示します。

L3 ボタン

FEATHER の動作に関する設定を行うメニューを表示します。

録画再生コントロールボタン

録画や再生に関するコントロールを行います
(p. 16 参照)。

R1 ボタン

Media Libraryを表示/非表示します(p. 23 参照)。

R2 ボタン

最小化します。

R3 ボタン

フルスクリーン表示に切り替えます。

左右ボタン

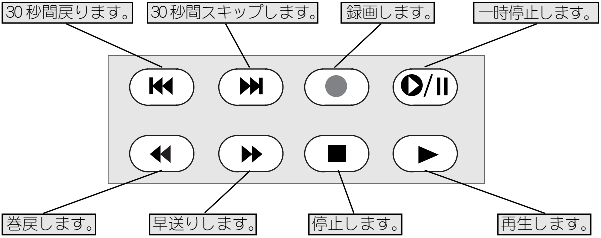
チャンネルをコントロールします。

上下ボタン

音量をコントロールします。

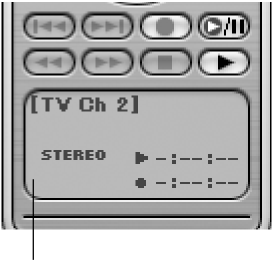
■録画再生コントロールボタンについて

録画再生ボタンは、録画や再生に関するコントロールを行います。通常のビデオデッキとほぼ同じように動作します。



注意

FEATHERの『録画再生コントロールボタン』の機能は、CRM-1の『録画再生コントロールボタン』と同じです。



ステータスバー

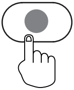
FEATHERの動作を示すアイコンなどが表示されます。

■録画する

1 録画するチャンネルを選択します。

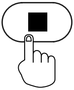
2 録画フォーマットを設定します(p.25 参照)。

3 [録画] ボタンを押します。



→ 映像の録画を開始します。

4 録画を終了するときは、[停止] ボタンを押します。



■タイムシフト機能を使う

1 タイムシフトモードを設定します(p.25 参照)。

2 [タイムシフト] ボタンを押します。

→ バッファリングを開始します。

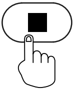
3 [タイムシフト] ボタンを押します。

→ バッファリングした映像を再生します。

※ つまみを操作することでバッファリングした映像の再生位置を変更させることができます。

※ [巻戻し]ボタンや[30 秒間巻戻し]ボタンで操作することもできます。

4 タイムシフト機能を終了するときは[停止] ボタンを押します。

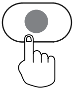


> **注意**
>
> タイムシフト中に[録画] ボタンを押すと、現在の映像が録画されます。

■追いかけ再生する

1 [録画] ボタンを押します。

→　映像の録画を開始します。



2 [タイムシフト] ボタンを押します。

→　録画中の映像の最初に戻ります。

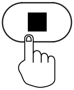
3 [タイムシフト] ボタンを押します。

→　録画中の映像が再生されます。

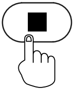
※ つまみを操作することでバッファリングした映像の再生値を変更させることができます。

※ [巻戻し]ボタンや[30 秒間巻戻し]ボタンで操作することもできます。

4 録画中の映像の再生を中止するときは[停止] ボタンを押します。



5 再生を中止し、さらに録画も終了するときは、もう一度[停止] ボタンを押します。

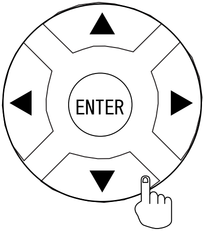


■再生する

1 [R1]ボタンを押します。

→ [Media Library]ダイアログが起動します(p. 23参照)。

2 [上下]ボタンを押して再生したいファイルを選択し、[ENTER]を押します。

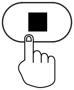


→ ファイルの再生を開始します。

3 [R1]ボタンを押します。

→ [Media Library]ダイアログを閉じます。

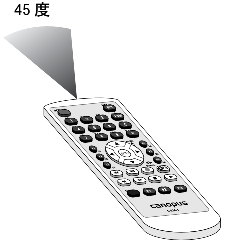
4 再生を終了するときは[停止]ボタンを押します。



→ ファイルの再生を停止します。

ⓘ 注意

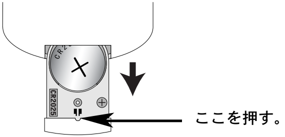
CRM-1(送信ユニット)がCIRCV-1(受光ユニット)に送信することができる赤外線の角度は上下左右 45 度までです。



ⓘ 注意

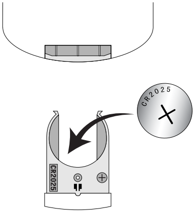
電池を交換するときは以下の手順で行ってください。

① CRM-1 を裏返し、電池カバーの穴にあるつめを先のとがったペンなどで押してから、電池カバーをずらして取り外してください。



② 使用済みのリチウム電池を取り外し、電池カバーの表示どおりに+(プラス)を上向きにして電池を入れます。リチウム電池を正しく入れたら、電池カバーを閉めます。(電池は CR2025 を使用します)。

● 製品出荷時のリチウム電池は動作確認用です。



詳細設定

■L1ボタンについて

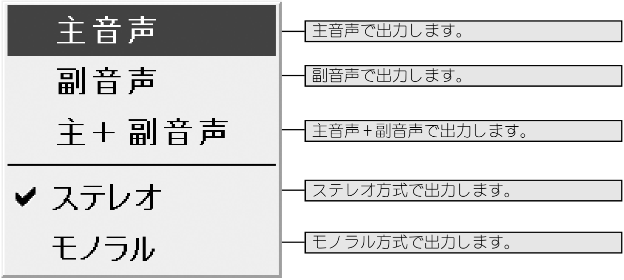
CRM-1の[L1]ボタンを押すことによりMTVシリーズの設定を変更することができます。また、FEATHERでもL1ボタンをクリックすることで、同様の作業を行えます。また、表示されたメニューは[C]ボタンで閉じることができます。

※ ここではチューナーモードを例に説明しています。

■L2 ボタンについて

CRM-1 の[L2] ボタンを押すことにより音声に関する設定の変更をすることができます。また、FEATHER でも同様の作業を行えます。また、表示されたメニューは[C] ボタンで閉じることができます。

※ コンポジットモード、S-VIDEO モードでは選択できません。



■L3 ボタンについて

CRM-1 の[L3] ボタンを押すことにより FEATHER の動作に関する設定の変更をすることができます。また、FEATHER でも同様の作業を行えます。また、表示されたメニューは[C] ボタンで閉じることができます。

■Media Libraryについて

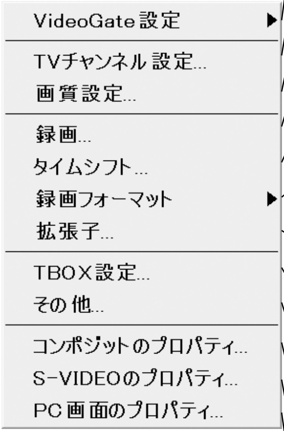
Media Libraryの『全てのカテゴリ』にはFEATHERを使用して録画されたファイルが保存されています。録画されたファイルを『スポーツ』、『ドラマ』等のカテゴリ別にドラッグして分類することができます。『全てのカテゴリ』上で右クリック→[新規カテゴリ]を選択すると、新たなカテゴリを作成することができます。また、録画ファイルのコメント欄をクリックすると、コメントを追加することもできます。

注意

ファイルの前に ⚠ アイコンがついている場合は、キャプチャしたファイルとのリンクが外れています。また、キャプチャしたファイル名を変更すると、キャプチャしたファイルとのリンクが外れてしまい、Media Libraryでは再生することができません。その時は、一度右クリックでリンクの外れているファイルを削除し、新たに[メニュー]バーの[ファイルの追加]でリンクの外れたファイルを開いてください。

■プロパティについて

[L1] ボタン内にあるプロパティを選択すると、各種プロパティが表示されます。



VideoGate 設定（オプション設定 / プレビュー）を表示します（VideoGate 接続時）。

FEATHER ウィンドウの『TV チャンネル』を表示します（p. 25 ①参照）。

FEATHER ウィンドウの『画質設定』を表示します（p. 25 ②参照）。

FEATHER ウィンドウの『録画』を表示します（p. 25 ③参照）。

FEATHERウィンドウの『タイムシフト』を表示します（p. 25 ④参照）。

FEATHER ウィンドウの『録画フォーマット』を表示します（p. 25 ⑤参照）。

FEATHER ウィンドウの『拡張子』を表示します（p. 26 ⑦参照）。

TBOX 設定（オーディオ/TV）を表示します（TBOX 接続時）。

FEATHER ウィンドウの『その他』を表示します（p. 26 ⑨参照）。

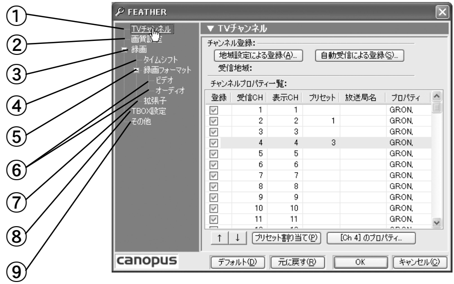
コンポジットビデオ入力のプロパティを表示します（p. 27 参照）。

S-VIDEO入力のプロパティを表示します（p. 27 参照）。

PC画面出力のプロパティを表示します（p. 26 参照）。

■FEATHER 設定ウィンドウについて

FEATHER ウィンドウには大きく分けて[TV チャンネル]、[画質設定]、[録画]、[その他]の 4 項目に分類されています。



① TV チャンネル:

地域別のプリセットを利用するか、もしくはオートスキャンを利用して放送があるチャンネルや放送局名などを設定するウィンドウです。
また 1 から 0 のボタンにプリセットチャンネルの割り当てを行うことができます(p. 26 『注意』参照)。

② 画質設定:

[PC 画面の出力プロパティ](p. 26 参照)、[コンポジット入力のプロパティ](p. 27 参照)、[S-VIDEO入力のプロパティ](p. 27参照)、[チューナー入力のプロパティ](p. 28参照)、[ファイル再生のプロパティ](p. 28 参照)で構成されています。

③ 録画:

『録画時間の制限』(最長23:59:59まで)、『録画中にはチャンネル切り替えを無効にする』、『タイムシフト中にはチャンネル切り替えを無効にする』、『録音レベル』、『録画ファイルの保存先』 などの設定で構成されています。

④ タイムシフト:

タイムシフトモード時の設定を行います。

⑤ 録画フォーマット:

『ビデオ形式』、『ストリーム』、『画質』 の選択などの設定によって構成されています。

⑥ ビデオ/オーディオ:

[録画フォーマット]内の[画質]設定を[マニュアル設定]に変更することにより、このウィンドウでビデオおよびオーディオに関する詳細な設定が可能になります。

⑦ 拡張子:

[MPEG1]の『システム』、『ビデオ』または『オーディオ』の拡張子、[MPEG2]の『プログラム』、『ビデオ』または『オーディオ』の出力時の拡張子を必要に応じて変更することができます。

⑧ TBOX 設定:

TBOXの[オーディオ]および[TV]に関する設定を行います。

⑨ その他:

[優先するチューナー]は『TBOXチューナー』もしくは『内蔵チューナー』を選択します。トラブルシューティングは必要に応じてチェックを付けてください。

> **注意**
>
> プリセットモードとは、あらかじめ任意の放送局に割り当てた1から0を選局することをいいます。
> ダイレクトモードとは、放送局が使用しているチャンネルを選局することをいいます。
> ケーブルテレビは、ケーブルテレビ局がチャンネルを割り当てています。

■PC画面出力のプロパティについて

[全般]タブでは、視聴時のPC画面出力を設定します。オーバーレイ画面の『明るさ』、『コントラスト』、または『色の濃さ』を調整します。
[チャンネル表示]タブはオーバーレイ画面のオンスクリーン表示について設定します。
[表示位置]タブはオーバーレイ画面の表示領域を変更します。

■[コンポジット]のプロパティについて

コンポジット入力時のカラーを調整します。ビデオプロセッシング機能をサポートしたMTVシリーズの場合は、3次元YC分離、ノイズ・リダクションの設定も行えます。

※ 画面はMTV1000のものです。お使いのMTVシリーズにより画面は異なります。

■[S-VIDEO]のプロパティについて

S-VIDEOの入力時のカラーを調整します。ビデオプロセッシング機能をサポートしたMTVシリーズの場合は、ノイズ・リダクションの設定も行えます。

※ 画面はMTV1000のものです。お使いのMTVシリーズにより画面は異なります。

■[チューナー入力]のプロパティについて

[全般]タブでは受信チャンネルの入力カラーを調整します。ビデオプロセッシングや現在選択されているチャンネルは、放送局名の入力も行えます。
[受信周波数]タブでは、現在選択されているチャンネルの受信周波数の微調整を行います。

※ MTV2200 SX では[受信周波数]タブは表示されません。

■ファイル再生のプロパティについて

[全般]タブではファイル再生時についてのオプション、ステレオ音声出力チャネル、再生時のカラー調整などを行います。
[表示位置]タブはオーバーレイ画面の表示領域を変更します。

■Remote Control Manager について

Remote Control Manager を設定することにより、FEATHER のキー配置をカスタマイズすることができます。ただし動作内容はお使いの環境により異なります。

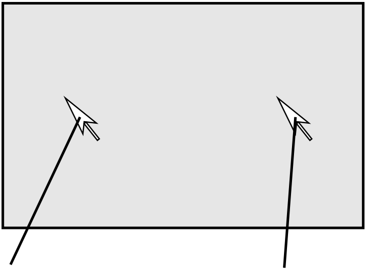
1 タスクバーの『Canopus RC Manager[FEATHER]』を右クリックして、[Option]を選択してください。

2 [Canopus RC Manager]ウィンドウが開きます。

注意

オーバーレイ画面の左側付近にマウスカーソルを置いた状態でホイルスクロールさせると、音量のコントロールが行えます。また、同様にオーバーレイ画面の右側付近にマウスカーソルを置いた状態でホイルスクロールさせると、チャンネルのコントロールが行えます。

オーバーレイ画面



音量のコントロール

音量が強弱します。

チャンネルのコントロール

チャンネルがUP/DOWNします。

仕様

■送信ユニット：CRM-1

- 36Key対応赤外線送信機
- 赤外線到達距離　4m
- 動作温度範囲　0℃～+40℃
- 使用電池　リチウム電池　CR2025
- 重さ　約40グラム(電池含まず)
- サイズ　125.2mm×52mm×9.5mm

■受光ユニット：CIRCV-1

- USB接続対応赤外線受信機
- USBバスパワーにて動作
- 動作温度範囲　0℃～+40℃
- 入出力コネクタ　USB　Aタイプ
  USB　Ver1.1仕様準拠
- 重さ　約65グラム
- 受光部サイズ　54mm×36.6mm×27mm
- ケーブル長さ　約1450mm
  (USBコネクタ含む)
- 赤外線受光半角値　45度

資料

■キー配置

CRM-1の[SHIFT]ボタンと以下のボタンを同時に押すことにより、パソコンのキーと同じ操作を行うことができます。

CRM-1	機能
MUTE/HELP	キーボード　F1
↑	マウス上移動
R1/S4	キーボード　ALT+F4
←	マウス左移動
ENTER	マウス左クリック
→	マウス右移動
R2/S5	キーボード　ALT+TAB
↓	マウス下移動
R3/S6	マウス右クリック
POWER	スタンバイ※

※　お使いの環境によっては、スタンバイ機能が働かない場合があります。